

# Remboato

レムボート=手漕ぎ船、四人の音楽家が漕ぎだす音楽の旅

藤本一馬 (gt)

福盛進也 (ds)

栗林すみれ (pf)

西嶋 徹 (cb)

10/1 (sat)

18:30 open / 19:00 start

白鷹町文化交流センター  
あゆーむ

白鷹町鮎貝 7331 ☎0238-85-9071

淀みなく流れる水のように消えゆく音を景色に変え  
懐かしい風景さえ新しく出逢ったものと感じさせる。  
現在のジャズシーン注目のプレイヤー/コンポーザー  
達4人=藤本一馬、栗林すみれ、西嶋 徹、福盛進也  
が集結した Remboato カルテットの東北初ライブ。  
星を漕ぐ者たちとひととき宇宙を共有する場へようこそ

前売 ¥3,500

当日 ¥4,000

チケット取扱

白鷹町文化交流センター ☎0238-85-9071 / 白鷹町図書館 ☎0238-87-0217  
Jazz triangle ☎090-3755-0981 / 音楽アムズ館長井店 ☎0238-84-3111

■お問合せ：白鷹町文化交流センター ☎0238-85-9071 / Jazz triangle ☎090-3755-0981 (高橋)

■主催：Jazz triangle ■共催：白鷹町・白鷹町教育委員会・白鷹町文化交流センター ■企画制作：(有)アプローズ

1st アルバム  
「星を漕ぐ者」  
好評発売中！  
nagalu レーベル  
2枚組 ¥4,950



# 星を漕ぐもの達

## 藤本一馬

ギタリスト・作曲家  
1998年ナガシマトモコとデュオ  
"orange peko"を結成。『Organic Plastic Music』で幅広い支持を獲得。その後国内はもとより世界各国で活動。2011年ソロ名義での1stアルバム『SUN DANCE』をリリース、雄大な自然からの着想、自己の内面を投影した叙情的なオリジナル楽曲をもとにアコースティックな響きと空間的余韻を内包したインストゥルメンタル音楽を展開。その後カルロス・アギーレ(pf)やアンドレ・メマーリ(pf)、シルビア・イリオンド(vo)等をフィーチャーしたソロ『Dialogues』、『My Native Land』、『FLOW』伊藤志宏(pf)とのデュオ作品『Wavenir』を発表。2019年、予てから活動していた林正樹(pf)、西嶋徹(cb)とのFLOWトリオに福盛進也(dr)が参加  
"藤本一馬カルテット"を始動。フォークロリックな感性と室内楽の持つ静謐さを湛えたコンテンポラリー・ジャズへと昇華させ、フジモトワールドのサウンドを確立させている。

## 栗林すみれ

ピアニスト・作曲家  
生田流箏奏者である父の箏を聴いて育つ。2014年行方均氏のプロデュースでサムシクールレーベルからデビュー。1stアルバムがディスクグラプリニュースター賞受賞。2018年総勢11名参加のアンサンブル作品をリリース。ジャズライフ誌で表紙を飾る。ベーシスト金澤英明とのユニット"二重奏"を三作リリース、国内外で高い評価を得る。海外での活動もめざましく、ロンドンのホクストンホールでのリーダー公演、南イタリアでのソロコンサート、ドイツではウォルター・ラング福盛進也と共に老舗クラブ、ウンターファルトのマンズリーピックアップアーティストとして出演、ジュゼッペ・バッシグループでの録音及びツアーにも参加。オーストラリアのワンガッタ・ジャズフェスティバルにニラン・ダシカとのユニットと自己のセクステットで出演。2020年ジュゼッペ・バッシとのリモート録音作品がイタリアのベストジャズアルバム100に選ばれる。先人への敬意と幅広い音楽性の融合から紡ぎだされるオリジナルとインプロヴィゼーションは多くの聴衆の心を掴む。

## 福盛進也

ドラマー・プロデューサー  
10年間のアメリカでの活動後拠点をミュンヘンに移し欧州各国で活動を開始。2018年に自身のトリオでドイツの名門ECMレーベルから日本人二人目となるリーダー・アルバム『For 2 Akis』をリリース。現在、トリグヴェ・サイム(sax)、ウォルター・ラング(pf)との新たなトリオの他、国内では藤本一馬カルテット、林正樹グループ、佐藤浩一とのデュオプロジェクト"lakka"佐藤浩一(pf)とのプロジェクト"lakka"などで活躍中。2020年には自身のレーベルnagaluを立ち上げ『Another Story』を発表、翌年には第二のレーベルS/N Allianceも設立し、プロデュース業や録音のディレクションにも力を入れ、日本の音楽シーンに新たな風を吹き込んでいる。

## 西嶋 徹

ベーシスト  
5歳よりヴァイオリンを始め、高校の時にベースを始める。ジャズ、アルゼンチンタンゴを軸に、幅広い音楽性で様々なジャンルのアーティストをサポートしている。Jazztronik、パブロ・シーグレル、綾戸智恵、ウィリアムス浩子、小野リサ、カルメン・マキ、小松亮太、葉加瀬太郎、長谷川きよし、藤本一馬、古澤巖、ワサプロ、等のレコーディングやコンサートをサポート。現在、Cuatrocientos、三枝伸太郎 Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月 Quinteto、大柴拓 Ensemble para Flores、吉田篤貴 EMO strings、岩川光 Trioなどのグループに参加。2014年、ピアニスト林正樹と共にアルバム「El retratador」をリリース。2018年、ソロアルバム「Phenomenology」をリリース。2019年より、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスという変則編成での弦楽カルテットを主宰して活動している。